

平成28年度 第1回豊山町地域包括支援センター運営協議会議事録

- 1 開催日時 平成29年2月13日（月）午前10時00分～午後11時10分
- 2 開催場所 豊山町保健センター 2階 研修室
- 3 出席者
 - (1) 委員 5名
岡本和士委員、三原亜矢巳委員、中西正司委員、堀場光代委員、中村百合子委員
 - (2) 事務局 2人
高桑保険課長、
地域包括支援センター 長友保健師主任
- 4 議題
 - (1) 平成28年度豊山町地域包括支援センター事業進捗状況について
 - (2) 平成29年度豊山町地域包括支援センター事業計画について
 - (3) 介護予防プラン委託先について

5 議事内容（要点筆記）

【保険課長】

本日は、大変お忙しい中、ご出席を賜りましてありがとうございます。定刻となりましたので、ただ今より平成28年度豊山町地域包括支援センター運営協議会を開催させていただきます。私は、本日の司会を務めます保険課長の高桑です。事務局は、私、高桑と地域包括支援センターの長友と2人で参加させていただいております。よろしく願いいたします。

ここで、協議会の開催にあたり、ご挨拶を申し上げます。地域包括支援センター運営協議会は昨年度立上げさせていただきました。先回の運営協議会では、28年度の地域包括支援センターの運営事業について、また事業の進め方について皆様にお話しさせていただきました。28年度は、地域包括支援センターにおいて総合事業という事業が新たにスタートし、すでに10か月以上が経過しております。皆様方に進捗報告ができる状況になりましたので、今回の協議会を開催させていただくこととしました。来年度については、28年度の結果がまとまる7月頃に改めて実績をご報告させていただき、また来年のこの時期に30年度の事業計画をお示しさせていただくという形で、年2回協議会を開催させていただきたいと考えております。

本日につきましては、28年度の事業の進捗状況と来年度の事業計画について、議論していただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

会議に入ります前に、配布資料の確認をさせていただきます。本日の会議次第、豊山町地域包括支援センター運営協議会名簿、資料1「平成28年度豊山町地域包括支

援センター事業進捗状況について」、資料2「平成29年度豊山町地域包括支援センター事業計画について」、資料3「豊山町認知症初期集中支援チーム対応のフローチャート（案）」、資料4「介護予防プラン委託先について」でございます。不足等はありませんでしょうか。

続きまして、協議会の会議録についてお話をさせていただきます。豊山町では情報公開の一環として平成20年10月から協議会や委員会の議事録をホームページに掲載させていただいております。協議会の議事録につきましては、発言者の個人名を伏せ、「要点筆記」にてホームページに掲載させていただきます。議事録の内容につきましては、委員の皆様の確認が必要となります。後ほど、会長から議事録署名委員が指名されますので、指名されました2名の方と会長を併せ3名で、議事録の内容を確認していただき、署名をお願いします。

続きまして、協議会に先立ちまして岡本会長よりご挨拶を頂きたいと思っております。会長よろしく申し上げます。

【会長】

年度末のお忙しい中、お集まりいただきありがとうございました。地域包括支援センターというのは、高齢者を支えていく上で重要な役割がありますので、皆さん審議の方よろしく願いいたします。

【保険課長】

ありがとうございました。それでは、これからの議事進行につきまして岡本会長に申し上げます。

【会長】

それでは、ただ今から、議事の進行をさせていただきます。議事録の署名委員ですが、「中西委員」と「堀場委員」を指名します。議事録の署名については、事務局が本日の議事録を作成後、署名のお願いに伺いますので、よろしく申し上げます。

では、次第に従いまして、次第の4.「議題」に入ります。(1)「平成28年度豊山町地域包括支援センター事業進捗状況について」事務局から説明をお願いします。

【保健師主任】

議題(1)「平成28年度豊山町地域包括支援センター事業進捗状況について」について資料1に基づき説明した。

【会長】

説明が終わりました。ただ今の説明についてご質問・意見のある方は挙手をお願いします。

【委員】

総合事業の各事業ごとに延人数が表記されていますが、4月からの9か月間に行った回数について妥当と評価して良いか、好評なうちに推移した数字なのか、低調な数字なのか、といった判断はある程度できるものなのでしょうか。

【保健師主任】

新規の事業ということで、県や国などと比較する指標はありません。町独自で始めた訪問型サービスの「かっぼうぎサービス」、通所型サービスの「元気はつらつサロン」など、今後どういう伸びていくのかが評価に価すると思います。今年度、始まったばかりで周知も及んでいないこともあり、数字としては決して多いとは言えないため、来年度いかにこの数字を増やしていくかが課題であり、年間通して検討しながら進めていきます。

【委員】

このことに関連しますが、その数字の基になる①要支援認定を受けた者と②基本チェックリスト該当者の実人数はどういう状況でしょうか。

【保健師主任】

12月末時点での数字ですが、要支援認定を受けてみえる方が27名、基本チェックリスト該当者は19名、合計46名になっております。

【委員】

その人数から見た時に、延人数がどういう評価を受けるのかについて、今後重要になってくると思います。

【会長】

意見、質問も出尽くしたようですので、続きまして「(2)平成29年度豊山町地域包括支援センター事業計画について」事務局からの説明をお願いします。

【保健師主任】

議題(2)「平成29年度豊山町地域包括支援センター事業計画について」について資料2、3に基づき説明した。

【会長】

説明が終わりました。ただ今の説明についてご質問・意見のある方は挙手をお願いします。

【委員】

自分の母親が介護保険認定の審査を受けたところ要介護となりまして、見る見る悪化していく状況に直面しました。早くに手当を受けるということが大事だと実感しま

した。皆さんに、認知症初期集中支援チームのことをもっとわかっていただけないかと思っています。本人が受診を嫌がったこともあり、少し受診が遅れてしまったことを反省しています。

【委員】

認知症初期集中支援チームについて、地域包括支援センターの職員がメインになると思いますが、認知症地域推進委員は地域に何名くらいで、どのような人の体制で考えていますか。情報がうまく吸い上げられるような、認知症地域推進委員が必要ではないでしょうか。そのように考えますが、今どのように検討されているのか、どのような活動を実施しているのか教えてください。

【保健師主任】

認知症地域支援推進委員は、地域住民の方ではなく、地域包括支援センター等の職員を対象とし、国の研修を受けた者が委員と認められます。家庭ごとで異なる問題等があるため、情報を把握できるシステム作りが必要と考えます。また、認知症の症状を気づくことができなかつたり、又は受け入れたくないという方もおり、症状が進行し生活に支障をきたすようになってから相談にみえる方もいます。

そのため、本人や家族が早期対応や早期受診ができるよう、認知症についての普及啓発をしていきたいと考え、平成27年度に認知症ケアパスを作成しました。認知症ケアパスは認知症に関するガイドブックであり、認知症の病気について、専門病院の案内、受診時の注意点、予防方法などを掲載しています。これまでの活動としては、認知症の普及啓発に推進委員として力を入れてきましたが、初期集中支援チームが始動してからは今以上にネットワークを広げ支援に繋げていきたいと思っています。

【委員】

また新しいことがはじまるということで、全体のチーム体制、特に人員は足りているのか心配するくらい様々な事業があるので、大丈夫なのでしょう。認知症初期集中支援チームの計画を見ても、会議やモニタリングについて大変な手間がかかるため、人員体制に不安があります。このことについて、どうお考えでしょうか。

【保険課長】

現状では、正職員2名のうち1名は、育児休暇中であるため、実質正職員1名体制です。産休中の職員を補うため、非常勤職員を採用し対応しています。もう1名、ケアマネジャーについても非常勤職員で対応しています。人数としては3名いますが、正職員1名、非常勤職員2名という体制で実施しているのが実際のところ。来年度につきましては、育児休暇中の職員は変わらず休業ということになり、正職員1名体制で実施していくこととなります。ただし、もう1名正職員の確保ができるよう現在調整中。このような状況で進めさせていただくということで、御理解頂きたいと思っています。

【委員】

会議やモニタリングの平均回数があるが、期間はどの程度で考えていますか。

【保健師主任】

まず、初回訪問を経て、どのような支援を行っていくか方針を決める際に、おおよその目安を決めていくこととなります。おおむね支援期間は6か月としておりますが、会議については平均3回行う予定です。また、訪問回数につきましては、6か月の支援期間の中で平均5回、1か月に1回、又は状況によっては短期間に集中して訪問するなど、対象者の方の状態に合わせて実施していきます。

【委員】

相談を受け付ける段階において、様々な情報が入り個人情報の取扱いがあると思います。個人情報の保護について漏えいがないようにするためのセキュリティが重要だと思いますが、どのように考えていますか。

【保健師主任】

地域包括支援センターで相談を受ける際には、住所や家族構成などをお聞きします。連携をする初期集中支援チームにそれらの情報提供をしますが、今回委託をさせて頂くチームとの契約において情報はしっかり守っていただくことを謳わせていただきます。また、役場内で情報共有することもあります。外部に漏えいがないようにこれまでも実施してきております。

【委員】

相談に来られたご本人やご家族は、自分たちの情報が入ったことを知らないと思います。この人達に、「初期集中支援チームで進めていきます」という同意やインフォームドコンセントを経て、進めていくということを考えていますか。

【保健師主任】

初回訪問の際、初期集中支援チームの目的を伝え、チームで支援させていただくことの同意書を用いて行っている市町があります。その取り組みを参考とし、実施していくことを検討しています。一方、外部からの支援の受け入れを拒む方もいますので、どのように支援をしていくかが課題となっています。

【委員】

1. 訪問支援対象者の把握、2. 情報共有、3. 情報収集及び観察・評価というフローチャートの流れがうまくつながっていないと、4. 初回訪問以降に訪問を受けた人が「なぜ家に来たのか」「どこから情報が漏れたのか」などといったことになりかねません。1から3の流れは、特に留意しながら進めていくことが重要だと思います。

【委員】

基本チェックリストとありますが、民生委員が高齢者のところに毎年お持ちしていたアンケートのことでしょうか。

【保健師主任】

そのアンケートのことを示します。27年度までは65歳以上の全ての方を対象としましたが、28年度からは65歳と75歳の方限定にさせていただいております。そのアンケートの回答結果により認知症の症状が気になる方に、支援が必要な方かもしれないという点で、地域包括支援センターの職員が事前に訪問等により把握することも考えてます。

【委員】

私自身がアンケートを行ったところ、「これでわかるのか」と強く思ったことがありますので、アンケートだけ見て判断できるのか疑わしいこともあります。

【保健師主任】

特に認知機能を確認する点では、日付がわかるか、自分で電話をかけることができるかなど、認知症の質問が3問しかありません。その中では認知症の診断の判定はできません。その他にも、外出しているか、人と交流しているかなどの、生活全般のことをアンケートでお聞きしていますので、生活全体の様子から認知症が隠れていないか確認させていただいております。

【委員】

この数年の間、一日おきの頻度で朝お会いする方がいます。朝、会うと挨拶をしたり会話をしたりしますが、この数年の間で「大丈夫かな」と感じることがあったりします。そのように認知症が始まっているのか疑わしい方でも、相談させていただいてもよろしいでしょうか。

【保健師主任】

是非、情報をいただきたいです。名前がわからない、住所がわからないという方も地域にそういう方がいらっしゃる情報をいただくと、また違う方からそういう情報をいただいた時に繋がる場合があります。何気ない挨拶でも違和感や変化が表れてくるので、特に生活の中での変化というのが重要だと思います。

【委員】

ご家族の意思などを確認せずに連絡してもいいのでしょうか。

【保健師主任】

ご家族の意思確認など出来ることが望ましいですが、難しいところだと思います。いただいた情報を漏らすことはありませんので、気になる方がいらした場合は、情報をいただくと助かります。

【会長】

意見、質問も出尽くしたようですので、続きまして、「(3) 介護予防プラン委託先について」事務局からの説明をお願いします。

【保健師主任】

議題(3)「介護予防プラン委託先について」について資料4に基づき説明した。

【会長】

説明が終わりました。ただ今の説明についてご質問・意見のある方は挙手をお願いします。ないようですので、以上で議題を終了します。

続きまして、次第5「その他」に移ります。事務局から何かございますか。

【保険課長】

平成29年度の協議会につきましては、平成28年度の実績がまとまりました段階で、7月頃に1回目協議会を予定させていただきたいと思います。また、来年のこの時期頃に2回目を予定させていただきたいと思います。事前に連絡をいたしますので、その節はよろしくをお願いします。以上です。

【会長】

これで、本日の日程はすべて終了しました。

これをもちまして、平成28年度第1回豊山町地域包括支援センター運営協議会を終了します。ご協力ありがとうございました。

上記のとおり、平成29年2月13日(月)開催の地域包括支援センター運営協議会の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの議事録を作成し、会長及び出席委員2人が署名する。

平成29年2月24日

会 長 岡本 和士

署名委員 中西 正司

署名委員 堀場 光代